

広域避難場所の検討状況に係る説明会の実施結果について

1 説明会日程

次の日程により、説明会を実施しました。

日程	時間	場所
10月21日(土)	10時00分～12時00分	市役所5階F会議室
	14時00分～16時00分	同上
10月25日(水)	15時30分～17時00分	市役所4階会議室1
10月29日(日)	10時00分～11時30分	市役所4階会議室2

※10月23日(月)に説明会を予定していたが、台風21号の影響により中止となった。

※10月21日(土)開催は相模川洪水ハザードマップ説明会と合同で行った。

2 参加者数

延べ44名

3 実施内容

別紙「広域避難場所の検討状況に係る説明会」(PPT資料)に基づき、これまで検討をおこなってきた内容(現状、課題の整理、新規指定の考え方等)について、市より説明を行ったうえ、質疑応答を行った。

4 意見内容

(1) 広域避難場所の検証に関すること
○広域避難場所に隣接する工場の火災については検討されているのか。地震時の大規模延焼火災ということなので、地震に起因する工場の事故、火災について考慮されているのか。
○樹木の防火効果は考慮しているのか。
○必要前面距離の300mをどういう考え方で変えたのか。検証図では、前面距離が300mとれていない。
○砂防林は避難有効面積に含まれるのか。
○輻射熱がカロリー表示になっているが、温度でいうと何℃か。
○風は一方向から吹くとはいえ、準安全面積の1/4を利用可能面積に加えるのはいかなものか。広域避難場所の四方が炎に囲まれる可能性がある。
○東西南北から風を吹かせて、安全性のシミュレーションを行ったとのことだが、海岸沿いについては、南風を考慮していなかったはずだがいかがか。
(2) 新規指定の考え方に関すること
○「新規指定の考え方」は、現状の広域避難場所に対しても同様か。
○防災に関するまちづくりの方針を、新規指定の基本的な考え方に入れるべきでないか。
○「新規指定の考え方」では、「原則として」、「できる限り」といった表現となっている。努力目標ではなく、条件として位置付けできないのか。

(3) 広域避難場所の新規指定に関すること

- 管理者の同意がなければ、避難場所として指定できないのか。
- 萩園には、耕地整理した広い土地が2箇所ある。それらを候補地として検討いただきたい。
- 県の計画では、基本は10万㎡以上を指定するとなっているが、新規指定の考え方の安全面積10,000㎡以上という要件は適切なのか。
- 鶴が台団地を指定して欲しい。
- 小中学校等の公有地の安全性を検証していたが、指定するのか。
- 茅ヶ崎市域外の施設等を、茅ヶ崎市の広域避難場所として指定するのか。

(4) 避難に関すること

- 茅ヶ崎ゴルフ場は、周りがクラスター地域である。実際にどうやって逃げ込めばいいのか。
- 北部の避難場所は面積的に余裕があり、平面的に見れば近く見え、有効と思われがちだが、実際避難するには坂を上らなければならない。子ども、高齢者などではとても避難できない。立体的な観点、避難のしやすさについても考慮に入れていただきたい。
- 広域避難場所は、地震に起因する延焼火災のみの避難場所なのか。一般の延焼火災からの避難の際も、避難場所となるのか。
- 大規模な火災と津波が同時に来た際の対策について、津波ハザードマップでは、千の川と小出川が氾濫することになっている。道路が冠水した中で避難できるのか。火災と津波を同時に検討してもらいたい。
- 安全面積に対して、避難できる人数の制限がないと、収容人数以上に人が押し寄せられる可能性がある。人数を管理する人もいない。そういったときの危険性について、どう考えているのか。小さい広域避難場所を増やすだけでなく、人数の制限を確立しておかないといけないのでは。
- これまでの検証結果を基礎資料として、避難対策の検討を進めて欲しい。
- 一中通りのアンダーパス、駅の自由通路を通して、どれぐらいの人が安全に逃げられるのか。例えば1時間あたり何人。駅周辺には帰宅困難者もいるだろうから、駅自由通路を通ることは困難ではないか。
- 避難については、まちぢから協議会、自主防災組織等と一緒に考えていく必要があるのではないか。
- 道路閉塞等、大地震が発生したことを想定した検討をしていただきたい。

(5) その他意見

- 指定から40年間市は何もしてこなかった。不作為だ。速やかに解決策を講ずるべきだ。
- 民有地の公園も指定の検討をしているのか。借地公園は相続のタイミングにより、減少の一途である。市として防災上必要だとなれば、所有者と交渉し買い上げたりするのか。
- 火災以外の災害（洪水、津波等）に対する避難場所の検討もしていると聞いている。そのタイムスケジュールを教えて欲しい。
- 新規指定をして広域避難場所を増やすとっていたが、20、30年先まで安心ですと言えるのか。40年前に指定した広域避難場所では現在足りていないと検証結果が示されていた。同じような事態が今後起こるかどうかが不安が残る。
- 準防火地域が12月から拡大する。広域避難場所が必要となくなるようなまちづくり（道路幅員を広げる、公園の整備等）をして欲しい。
- ゴルフ場の開発で、県は60,000㎡しか残さないと言っていた。市域南部に広域避難場所が不足するので、県に縮小しないように申し入れて欲しい。

